

## 特定非営利活動法人「ちば水土里支援パートナー」第10回通常総会開催される

第10回通常総会が、令和元年6月26日午後3時から千葉市美浜区の「ポートプラザちば」で、会員総数146会員のところ、出席121会員（本人出席59会員，委任状出席62会員）で開催されました。

まず、近藤事務局員の司会で開会し、会員の出席状況の報告があったのち鶴崎副理事長の開会宣言、相川理事長の挨拶のあと、来賓の千葉県農林水産部岩渕次長及び千葉県土地改良事業団体連合会杉野副会長から祝辞をいただきました。また、議長には司会者が出席者に諮り、鶴岡明男会員が選任されました。議事に先立ち議長より議事録署名人2名を選任したい旨の発言があり、山下一士 及び 宇井哲也 の両会員を指名しました。

続いて議事に入り

議案第1号 平成30年度事業報告及び決算について

議案第2号 令和元年度事業計画について

議案第3号 令和元年度の会費及び納入方法について

議案第4号 令和元年度予算について

議案第5号 令和元年度一時借入金限度額並びに借入方法について

議案第6号 令和元年度会費等の積立金並びに余裕金の預入先について

の6議案が上程されました。第1号議案から第6号議案について事務局からの議案説明のあと質疑応答があり、全議案とも賛成多数で可決されました。

以上で本会議に付議された議案は全て終了した旨の議長発言があった後、議事を終了しました。その他として、新規会員の報告が行われた。最後に豊川副理事長が閉会を宣言し午後4時17分総会を終了しました。

### 岩渕農林水産部次長挨拶

この度は、ちば水土里支援パートナーの第10回通常総会の開催、まことにありがとうございます。

日頃から、相川理事長はじめ、会員の皆様には、県内各地で土地改良区等を下支えしていただいているほか、最近では、農地中間管理事業や土地改良区の体制強化等の県施策にもご協力いただいていることに感謝申し上げます。

また、会員構成を見ますと、土地改良関係に携わってきた人材の裾野の広さを、改めて認識したところです。



岩渕農林水産部次長

県政に関しては、三島ダムの漏水問題など生じているものの、土地改良関係予算が、ほぼ10年以上前の水準を確保されてきているほか、10年来の懸案であった、成田財特法適用の下での、水資源機構営の成田用水改築事業が本年度から開始されました。また、同じく長年の懸案であった国営手賀沼地区に関しても、全体実施設計が本年度より開始され、2年後の着工が見えてきたことなど、比較的順調に推移してきております。また、中間管理事業推進や、地域の急速な担い手不足などを背景に、ほ場整備の機運が各地で急速に高まっており、耕地課は、事業採択調整に追われている状況にあります。

一方、土地改良法が改正され、土地改良区の体制強化が喫緊の課題となっておりますが、本県の土地改良区は、他県と比べても体制が極めて脆弱な状況にあるため、耕地課を中心に、その対応を急いでいるところです。この点については、今後とも、より一層、会員皆様のご支援を賜りたいと考えております。

また、農業土木技術職員の若返りが急速に進んでおり、昨年度、ベテラン職員10名以上の退職という想定外の事態が生じ、農業事務所にあっては、課長職の下に中堅職員が居ない状態で、採用5年程度以内の技師がひしめいているという状況にあります。

私が県に入った頃は、先輩方に手取り足取り教えていただきながら成長してきたことを思い出し、現在若手職員が置かれている状況と対比するにつけ、今後の職務遂行や技術向上、あるいは上司や課員同士のコミュニケーションの在り方など、新しい職務体制の構築が必要だと強く感じました。このため、私自ら農業事務所に出向き、若手職員との直接対話を実施する中で、彼らが、いかなる点に困難を感じており、管理職がどのようなフォローをすべきなのかを探っているところです。可能であれば、会員皆様のご意見を伺うことができれば、とも考えております。

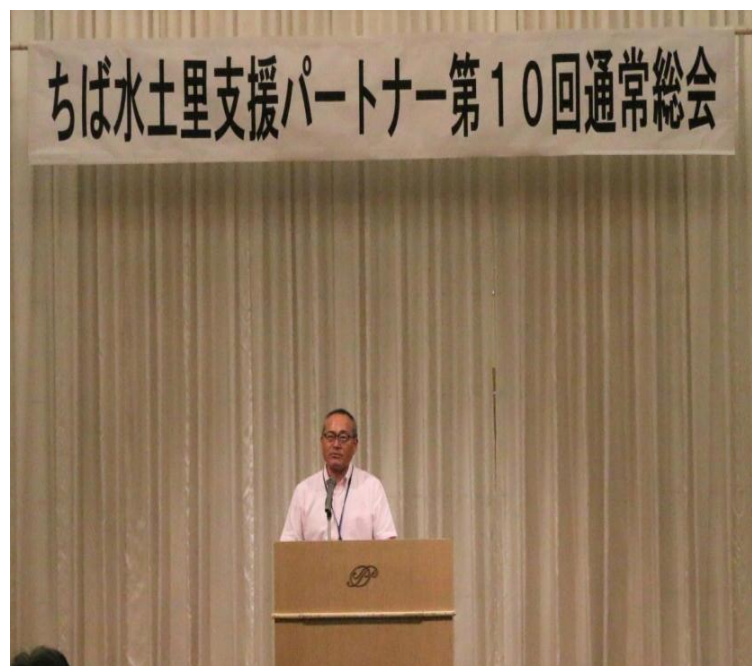
おわりに、ちば水土里支援パートナーの益々の発展をご祈念申し上げ、今後の県政推進へのご協力をお願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。

## 杉野土地改良事業団体連合会副会長挨拶

ただいま、ご紹介をいただきました、千葉県土地改良事業団体連合会副会長常務理事の杉野です。

第10回 通常総会の開催、まことにおめでとうございます。

日頃から、NPO法人 ちば水土里支援パートナーの相川理事長をはじめ、会員の皆様方には、水土里ネットちばの各種業務の執行に当たって、ご理解、ご協力をたまわり感謝申し上げます。



杉野土地改良事業団体連合会副会長

ちば水土里支援パートナーも平成22年7月13日の設立総会から丸9年、新たな令和の時代に、区切りの10年目を迎えて、設立当初の東日本大震災の災害復旧への支援から、

今では、農地耕作条件改善事業の現場管理、ダムの点検や土地改良協会の事務支援など、ますます活動の場を広げており、日々の活動に頭が下がる思いです。

当連合会も団体会員としていろいろな取り組みに積極的に参加できればと思っています。また、個人的には、私も今年度から会員となりましたのでよろしくお願いいたします。

地域における土地改良事業、あるいは土地改良区の役割は、これからますます重要となっています。農業生産基盤となるほ場の大区画化や汎用化、農業用水等の安定供給だけでなく、農村地域の防災減災や活性化などのほか、転作の推進、農地・水・環境保全対策（日本型直接支払制度）や、農地中間管理事業の推進など、地元に着した土地改良だからこそその取り組みも求められています。

これからも、会員相互の情報交換などを進め、農業・農村の振興、安全、安心で豊かな農村づくりへの支援に、会員一丸となって取り組み、この支援活動を盛り上げていただければと思います。

最後に新たな令和の時代の始めに区切りの10年目を迎えた、ちばNPO水土里支援パートナーのますますの発展と皆様方のご健勝を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

## 令和元年度役員名簿及び事務局員名簿

### 理事・監事・顧問・事務局員名簿

役 職	氏 名	選出区域・団体
理事長	相 川 文 明	印 旛
副理事長	鴫 崎 勝 善	前両総土地改良区
〃	豊 川 忠 幸	千 葉・市 原
理 事	石 川 文 彦	東 葛
〃	鈴 木 良 則	香 取
〃	亀 岡 健 三	海 匝
〃	川 俣 裕 一	山 武
〃	綱 康 次 郎	長 生
〃	千 葉 常 之	夷 隅
〃	鈴 木 民 也	安 房
〃	松 田 晴 夫	君 津
〃	✓ 谷 正 司	東葛北部土地改良区
〃	薄 井 厚	事 務 局 長
監 事	鈴 木 孝 行	前八千代市役所
〃	椎 名 弘 充	香北土地改良区
〃	大 野 志 津 子	水土里ネット女性の会
顧 問	星 川 正 晴	前理事長

役 職	氏 名	選出区域・団体
事務局員	水 野 毅	山 武
〃	池 田 寿 夫	印 旛
〃	岸 田 康 則	千 葉・市 原
〃	近 藤 裕 之	東 葛
〃	鈴 木 一 雄	山 武
〃	鈴 木 大 作	千葉県土連
〃	杉 野 宏	〃
〃	湯 浅 明	〃
〃	佐 藤 賢 治	〃
〃	根 本 茂	千 葉・市 原
〃	田 村 利 夫	〃
〃	芦 川 義 勝	〃
〃	飯 田 厚	多面的機能推進協

## 相川理事長挨拶

昨年6月よりNPOの理事長をしております相川です。本日は公私ともお忙し中、第10回NPO総会にご出席頂きありがとうございます。

また、千葉県からは岩淵農林水産部次長、小島耕地課長、内山農地・農村振興課副課長の出席をいただき、誠にありがとうございます。

NPOも主な活動としては、地域の土地改良協会の事務支援、安房中央ダムの定期的な堤体観測業務、農地中間管理機構からの耕作条件改善事業の受託業務、そして個別の土地改良区からの会計システム全般についての業務支援や定款を含む諸規定の整備から土地改良施設台帳作成などの業務支援を今まで行ってきました。

昨年度は新たな業務として、県土連から「土地改良区の体制強化」に向けた検討業務を受託して、各地域の研修会・講習会などに出向いて発表して参りました。

さて土地改良法もこの4月から改正され、その中でも一番関心があり、大変なものとしては、複式簿記への移行と言われておりますが、簡単に言いますと「収支決算書」に加えて、原則して貸借対照表を作成することです。

今年度（2019年）から令和3年度（2021年）までの、3年間の準備期間の後、令和4年度（2022年）から実施するというものであります。

職員もいる大きな土地改良区は、この3年間の試行期間を経てスタートが切れると思えますが、千葉県内には事務所もなく、職員もいない改良区が数多くあります。

この3年間の準備期間の中でNPOとして今まで培ってきた経験を生かして、県及び県土連へのお手伝い出来るのであれば、支援をしたいと考えております。

NPOもお蔭様で、会員は個人正会員124名、土地改良区等の団体正会員22、団体賛助会員15社という大きな組織になってきました。

NPOは会員皆様方からの温かい支援と協力があって、NPO活動が行われてきているわけで、業務支援活動に直接参加する人だけでなく、間接的に参加する人でも結構ですので、今後もNPOへの温かい支援をお願いしたいと思っております。

最後に本日の議案について慎重審議を頂きまして、承認されますことをお願い申し上げて、開会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございます。

## NPO法人活動実績（令和元年4月1日～令和元年5月30日現在）

月 日	活 動 内 容
4月 1日(月)	耕友会事務処理支援受託契約
〃	安房中央ダム定期点検業務受託契約
〃	千葉土地改良協会市原支部事務支援業務受託契約
〃	千葉土地改良協会千葉支部事務支援業務受託契約
〃	君津地域土地改良協会事務支援業務受託契約
4月 6日(土)	第22回千葉の水回廊ウォーク&疎水百選印旛沼ウォーク
4月11日(木)	千葉土地改良協会千葉支部役員会（千葉市）
4月17日(水)	君津土地改良協会役員会（木更津市）
4月19日(金)	安房中央ダム堤体観測（南房総市）
4月26日(金)	千葉土地改良協会市原支部役員会出席（市原市）
5月10日(金)	千葉土地改良協会 役員会（市原市）

5月20日(月)	安房中央ダム堤体観測(南房総市)
5月22日(水)	千葉土地改良協会市原支部総会(市原市)
5月24日(金)	君津土地改良協会総会(木更津市)
〃	千葉土地改良協会千葉支部総会(千葉市)
5月30日(木)	令和元年度第1回監査(土地改良会館別館)
5月30日(木)	令和元年度第1回理事会(土地改良会館)

## NPOの活動のひとつ

(写真の説明)

- ・連合会への支援

土地改良区の役職員に向けて本県の土地改良の変遷、改良区のあり方など改良区の経営基盤を強化するための研修会を実施



勝浦市ホテル三日月において

- ・農地中間管理機構への支援

中間管理機構が農家の方へ直接補助し、農家自ら水田の排水を促す暗渠排水工事や畦畔撤去による区画拡大の工事に際し、写真管理のアドバイスなどを行う



・農業用水利施設の点検管理

安房中央ダム（南房総市）の安全管理のため、定期的なダムの観測を実施



安房中央ダムの堤体観測状況

<編集後記>

今年の梅雨は関東地方では、前半晴れ模様、後半梅雨本来の天候で曇り雨の天気、うっとうしい日々が続きますが、九州地方では一ヶ月分の雨が一日で降るほどの豪雨で、被害の無いことを祈るばかりです。自然災害に対して、人間の無力さを改めて痛感する次第です。これからは台風のシーズンですので、天気情報には気をつけていたいものです。

当NPO法人も設立以来10年目を迎え、第10回の総会を終えて役員一同気持ちを新たに本会の運営等に取り組む所存ですので、会員皆様のご協力とお力添えを宜しくお願いいたします。

ちば水土里支援広報 第24号

(発行日 令和元年7月18日)

発行：特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー(発行責任者：相川文明)

会員：正会員 125名・22団体 賛助会員 15団体

事務局：〒261-0002 千葉県美浜区新港249番地8 千葉県土地改良会館別館

Tel 043-241-1755 Fax 043-241-1755

銀行口座番号：千葉銀行本店営業部 3908901 特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー

<http://npochiba.boj.jp/npo/>

理事長 相川文明